



① つくば道

つくば道は筑波山の参拝のために徳川時代に整備された参道であり、その風情が現在も残されている。国の「日本の道百選」に選ばれている。



③ 学園東大通り

東大通りは西大通りと並びつくばの大幹線であるが、特にまちの中心部ほど緑量は多く、まわりの住宅地の木々と相まって緑の谷間を進むようだ。国の「日本の道百選」に選ばれている。



⑤ 吉瀬の林間の道

林に包まれた静かな道。どこか軽井沢のような風情も漂わせている。



② つくばりんりんロード

旧筑波鉄道の線路跡に整備された。自転車の人、散歩の人、健康のために歩く人、様々な人が行き交う自転車道路と旧集落がとけ込んでいる。



④ つくば公園通りアルス前のケヤキ並木

この美しいケヤキ並木と特徴ある建築群との取り合わせは、つくばならではの都市美を誇る。



⑥ 並木のペデストリアン

並木地区内にあるペデストリアンは、周囲の住宅と一体化し、木々の間を縫うように通っているヒューマンスケールな小道である。



⑧ 学園西大通りのユリノキ並木

並木道が多いつくば市の中でも、ここ西大通りの見上げるばかりのユリノキ並木は壮観である。



⑩ 下岩崎の台地端

つくば市も南部に来ると、台地は深く谷津を刻み低地との標高差は意外に大きい。台地の上の集落から急な斜面を下ってくると一面に水田風景が開け、台地を縁取る豊かな林との対比が美しい。



⑦ 気象研究所高層気象台のビスタ

気象庁気象研究所の観測用鉄塔は、学園地区のランドマークともいえる。また、西大通りが大きくカーブするこの場所からは街路樹とともに印象的に眺めることができる。



⑨ つくば公園通り(洞峰公園～赤塚公園)

ペデストリアン（歩行者専用道路）が縦横に走る学園地区の中でも、つくば公園通りは、中央部を南北に貫く幹線であるが、中でも洞峰公園～赤塚公園の区間のもっとも緑が多く、そこは完全に森の世界のようである。



① 山から見下ろす 山口の棚田

八郷方面から山道を下って
ちよつど木々の間から見下
ろす棚田の風景に息を呑む
に違いない。全国に多くの
優れた棚田景観があるが、
ここもそれらに負けず劣ら
ずすばらしい。



③ 今鹿島付近の芝畑

何も知らないで通りかかると、
ずいぶん広々とした芝生の
公園がどこまでもつづいて
いるように感じる。芝は
つくば市が全国一の産地であり、
芝畑の広がる風景も
またつくば市を代表する景
観のひとつである。



⑤ 東岡の水田風景 と学園地区

東岡地区は、花室川沿いに
開けた水田に林が織り成す
落ち着いた田園風景を見せる。
木立の間に学園地区のスカ
イラインが垣間見え、その
取り合わせの妙が楽しい。



② 今鹿島の夕日

わずか数十分の間空が紫～オレンジ～紅色
に刻々と変化した。鹿島
神社のお社とシンボルツリーが夕焼けに映
えて神秘的な瞬間を見
せてくれる。



④ 柴崎の畑と森

耕されたばかりの畑と、
背後の広葉樹、針葉樹
が豊かな緑景観をつく
りだしている。



⑥ 西谷田川からの 田園

つくば市内から流れ出すい
くつかの河川が台地を緩や
かに窪ませながら南方に流
れている。台地と低地と斜
面林のコントラストが、独
特の広がりのある里山景観
を形づくる。



7 上郷の谷津田

小貝川の後背湿地から続く谷津田。うっそうとした杉木立が美しい。



9 小野崎南部の水田と三井ビル

つくばの中心部に隣接しながら研究学園都市の開発以前からの姿をとどめる小野崎地区は、美しい田園と都市景観の両方を楽しめる希少な場所である。



11 九万坪の茶畑

きれいに整備された茶畑が広がり、のどかな風景に癒される。



8 吉瀬からの田園風景

つくば市の南東部地域は、そこここに台地を刻む谷津田景観がみられ、なつかしさを醸し出すたたずまいを残している。ここは、土浦市との間に残された穴塚大池にもほど近く、身近に楽しめる里山景観である。



10 グリーンハイツ付近の谷津田

つくば市でも南部を中心に、戦後いくつもの新興住宅地の開発が進められてきた。そのような開発はニュータウンのような大造成を伴わないことが多いため、住宅街の裏手にはあちこちにこのような谷津田が顔をみせる。